

大学マネジメント研究会 主催

# 『大学の幹部職員を目指す』

## 改革志向型若手・中堅職員育成プログラム 実施概要

2023年8月4日(金)より配信するオンデマンド講義(2h)と

8月25日(金) 13:00-26日(土) 17:00ハイブリット(対面オンライン)研修

大学マネジメント研究会

〒102-0074 千代田区九段南4-6-1-203 TEL:03-3230-8767 FAX:03-3239-7904

e-mail: info@anum.jp

HP: <http://www.anum.biz/>

- ① 【趣旨】:18歳人口の急減、政府の20年にわたる規制緩和策による大学の急増と学生確保をめぐる大学間競争の激化、税投入による公立大学の急増などにより、定員割れの私立大学が続出し、今後10年間で100校以上の私立大学が閉鎖に追い込まれることは確実です。

一方で、高等教育のユニバーサル化により、学生の学力低下、学生の学修意欲の希薄化、中退の増加は、これまで安泰と思われてきた大都市立地の大規模私大にも広がっています。こうした課題は、いずれ国公立大学にも波及することは必至です。地方国立大学でも思うように集まらず、大都市で募集活動を行ったり、学力不足の学生に補習授業を行うことがすでに20年前から顕在化しています。

このような危機を乗り越えるには、理事長、学長、事務局長など経営トップの決意と実行力が必須ですが、大学の将来を担うべき若手・中堅職員の奮起が必要です。本プログラムは、現場の喫緊の課題を可視化し、解決のための方策を考え、それを実行できる「改革志向型職員」の育成を目指すもので、従来の研修プログラムとは一線を画すものです。大学の将来を担う意思と潜在力を持った職員の参加を期待します。

- ② 日 時:(前半:オンデマンド講義) 配信期間 2023年8月4日(金)~8月24日(木)  
(後半:対面とオンラインによる研修) 2023年8月25日(金)~8月26日(土)
- ③ 会 場:(後半)ルポール麹町 東京都千代田区平河町2-4-3 TEL03-3265-5361  
地図:<https://www.leport.jp/access/>
- ④ 目 的 :将来、学校法人・大学の幹部職員を目指す者を対象に、改革に向けたマインドセットを育成し、改革を実現する具体的な方法論を学ぶことを目的とします。
- ⑤ 受講対象:5年以上大学など高等教育機関での実務経験のある職員。対象外の方も、相談に応じます。
- ⑥ 受講者数:15名程度
- ⑦ 参 加 費:個人会員、法人会員所属大学の職員および大学行政管理学会会員は10,000円(税込)。  
一般は20,000円(税込)。

(ただし、後半集合研修を対面でご参加の場合、宿泊(ルポール麹町)・講義会場費として2万円別途いただきます。対面参加の方で宿泊をしない場合はお問い合わせください)

⑧講師： 本間政雄 弊会会長  
上杉道世 弊会副会長  
横田利久 関西国際大学 専務理事・事務局長、弊会副会長  
露崎 洋 千葉商科大学 理事・法人事務局長、弊会理事  
杉原 明 工学院大学 理事、総合企画部長、弊会理事  
安田智宏 関東学院大学 事務局次長(入学広報担当)、アドミッションズセンター副センター長、弊会理事

⑨メンター： 池田一郎 筑波大学附属病院 病院総務部品質・安全管理課主幹  
池谷俊和 学校法人大原学園 委託教育事業部長(元大原大学院大学事務局長)  
柳生修二 統合研究大学院大学 付属図書館副館長  
日野智仁 奈良先端科学技術大学 研究協力課研究支援第一係長

⑩申 込： 申込フォームよりお申込みください

申込フォーム <https://www.supportyou.jp/kenkyukai/form/25/>



⑪申込み期限 2023年7月31日(月)

⑫参加費納付方法 請求書を発行いたしますので、2ヶ月以内に納付ください。

### ⑬プログラム

◆事前課題：所属大学又は法人、所属部署における課題をそれぞれ3点、合計6点挙げ、課題の内容とその背景の分析、課題に対して可能な解決策・対応策についての考えを1課題につきA4用紙1ページ程度(関連資料は別)にまとめていただきます。後半開始前に提出してください。グループディスカッションで皆で解決策を探ります。

◆前半(オンデマンドで視聴)：8月4日(金)15:00より配信いたします。

- ・開会挨拶、プログラム・ガイダンス(本間会長)
- ・講演1「先輩職員として」(露崎、杉原、安田各理事)
- ・講演2「受講経験者から」

ご質問は、メールにて受付けます。また、課題作成について、メンターからオンラインによるアドバイスが受けられます。

◆後半：8月25(金)13:00-26日(土) 対面とオンラインのハイブリットで開催いたします。対面会場・ルポール麴町

#### 【8/25(金)】

13:00～13:15 オリエンテーション

13:15～17:00 グループワーク(1)：参加者は、あらかじめ提出した6つの課題から、大学・法人の課題、所属部署の課題をそれぞれ一つずつ、合計2つを選び、課題の内容と背景、対応策・解決策について説明(15分)、グループ内で意見交換を行う(30分)。会長、副会長、助言者、既参加者を各グループに配置し、助言を行う。(1グループ5名程度)

18:00-21:00 情報交換会 ルポール麴町 レストラン

#### 【8/26(土)】

9:30～12:30 グループワーク(2)

13:30～16:00 参加者によるまとめの発表、メンターによるコメント(1人15分程度)

16:00～17:00 まとめ(会長・講師)

※これまで既に3回のプログラム(2019年3月、8月、2020年1月)に、36名(国立大学2名、公立大学1名、私立大学33名)が参加しています。

## <大学マネジメント研究会について>

2005年に、当時京都大学理事・副学長だった本間政雄が、主要国立大学の事務局長に呼びかけ、法人化後の国立大学の経営改革を推進するため国立大学マネジメント研究会として設立。2007年に大学マネジメント研究会と改称、活動範囲を国立大学だけでなく、広く私立、公立大学に広げ、経営改革だけでなく教育改革を対象にすることとし、現在に至っています。

月刊誌「大学マネジメント」の刊行をはじめ(累計215号)、政策フォーラム、地域フォーラム、海外大学訪問調査などを展開しています。現在、教職員など大学関係者だけでなく、民間企業、大学生協、文科省職員など、個人会員334名、大学・企業など法人会員54法人、月刊誌購読会員(大学、企業など)約160となっています。

## <講師略歴>



### ◆本間 政雄(大学マネジメント研究会 会長)

1948年生まれ。1971年名古屋大学法学部卒業後、旧文部省入省。74～76年London School of Economics大学院留学、M.Sc取得。OECD、在仏大使館勤務を経て、99年文部省総務審議官。2001年京都大学事務局長(04年理事・副学長)、05年大学評価・学位授与機構教授、07年立命館副総長、10年立命館アジア太平洋大学副学長(現在は客員教授)、13年-21年梅光学院理事長。13～14年関東学院常務理事。大学政策、大学経営、英仏の高等教育に関する著書、論文多数。



### ◆上杉 道世(大学マネジメント研究会副会長)

京大卒、1974年文部省に採用。2003年東京大学事務局長(2004年同理事)、2007年(独)日本スポーツ振興センター理事、2010年慶應義塾大学信濃町キャンパス事務長、2015年～2021年。著書:「大学職員は変わる」(2009年)、「大学職員は成長する」(2013年)、「大学職員の近未来」(2016年3月刊)をNPO法人学校経理研究会より発行。



### ◆露崎 洋(千葉商科大学理事・法人事務局長)

1969年千葉県いすみ市生まれ、中大卒。1993年学校法人千葉学園(千葉商科大学)入職。企画調査室、教学秘書室、総務課、人事課、教務課、学長事務室を経て2008年学校法人千葉学園評議員及び大学事務局長付部長・新学部設置準備室長(兼務)。その後、総務部長を経て2011年理事・評議員及び法人事務局長・大学事務局長(兼務)に就任。2016年より理事・評議員及び法人事務局長、現在に至る。



### ◆杉原 明(工学院大学 理事 総合企画部長)

早稲田大学第一文学部1989年卒。都内学校法人でシステム部門、通信教育部門などを経験後、2003年10月工学院大学入職。教育開発課長、学長企画室長などを経て2015年より現職。筑波大学履修証明プログラムRCUS大学マネジメント人材養成2011年修了。



### ◆安田 智宏(関東学院大学事務局長次長(入学広報担当)、アドミッションズセンター 副センター長)

1970年 横浜・中華街生まれ。関東学院大学工学研究科建築学専攻博士前期課程修了。1995年4月関東学院大学入職。14年間の情報科学センター勤務を経て、2009年4月より広報室配属。2017年よりアドミッションズセンターを兼務。2022年4月より現職。2003年 私情協 ICT利用による教育改善研究発表会 奨励賞。

●ほかに、FLC代表として、池谷俊一(学校法人大原学園委託教育事業部)、田中紳一(横浜市議会議員)がオブザーバー参加します。